

# 18F-FDG PET 画像使用に関するお知らせ

『研究課題名 間質性肺炎:ソフトウェア使用による FDG PET 炎症評価』

## 【研究の背景および目的】

18F-FDG PET は腫瘍細胞のみならず炎症細胞にも集積することが知られており、悪性腫瘍以外の心サルコイドーシスや大動脈炎症候群など炎症疾患にも保険適応となっています。そして、間質性肺炎の炎症にも集積が見られることがわかっています。しかしながら、腫瘍を評価するための画像診断として発展してきた経緯もあり、その集積の評価方法は腫瘍のためのもので、びまん性に広がる肺病変には対応していませんでした。

そこで、東邦大学医療センター大森病院放射線科では、びまん性に広がる炎症を評価するソフトウェアを使用して炎症を正しく評価できるかどうかを調べるため本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、画像により詳細な治療評価が可能になる可能性を秘めています。

## 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2015 年～2018 年までに東邦大学医療センター大森病院放射線科において撮像された 18F-FDG PET 画像が研究対象となります。CT で間質性肺炎所見が疑われた画像をソフトウェアで解析します。その際、とくに肺疾患のなかった画像を健常コントロール群として扱い、比較対象とします。間質性肺炎にも特発性間質性肺炎と呼ばれる疾患、膠原病による間質性肺炎など様々ですが、それらの病変(炎症)がどの程度 18F-FDG PET 画像で異なるかを調べます。

また、診療録(カルテ)から抽出した採血上得られる炎症指標と PET で得られる炎症指標との関連性も調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

## 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

放射線科

職位・氏名 助教・諸岡 都

電話 03-3762-4151 内線 77449